



足立区

23区の北東部に位置し、公園面積が多く、豊かな緑地環境を有する色彩豊かなまちです。区民の皆様や企業などが主体的に行動し、地域課題を解決していく「協創」をテーマに各事業を進めており、特にエリアデザインでは、区内7つのエリアで取組みを進めています。

エリアデザイン

エリアデザインとは、魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで、区のイメージアップを図る足立区独自のまちづくりの手法です。7つのエリアで展開しています。



竹の塚エリア

令和4年3月
高架化工事による
「踏切のない、安全なまち
竹の塚」の実現



江北エリア

令和4年1月
足立区初の大学病院
「東京女子医科大学附属
足立医療センター」開院



綾瀬・北綾瀬エリア

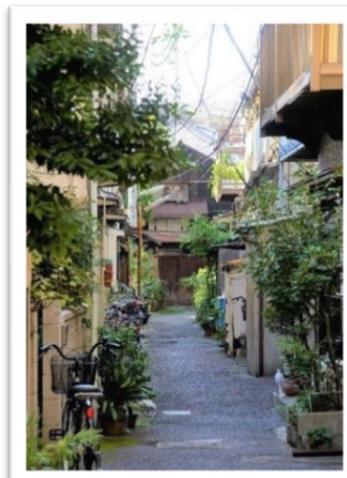
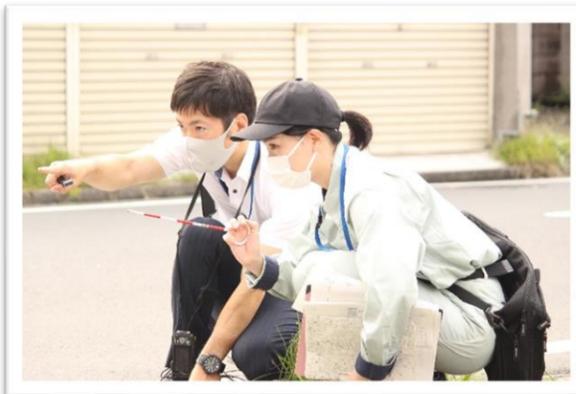
綾瀬駅および北綾瀬駅の
駅前交通広場整備進行中
(令和6年度完了予定)



(北綾瀬駅前交通広場完成イメージ図)

密集市街地整備 (土木)

公園等の公共施設整備、老朽住宅の買収・除却等により、防災性の向上と住環境の整備・改善を行っています。区内は、老朽化した木造住宅や狭い道路が多いため積極的に整備を進めています。



都市環境整備 (建築)

民間開発を法律に基づき正しく誘導し、宅地開発や公共的な建築物等の審査を行っています。すべての人がいきいきと安心して暮らせる区の実現を目指した取組みを進めています。

